

行雲流水

No.296 令和5年4月25日発行

「おはようボード」から毎朝の元気をもらおう

校長 寒河江 正人

令和5年度の新学期は、**4月6日から数えて本日でちょうど20日目**。
毎朝、「おはようボード」から出迎えてもらって、一日がスタートするね。

「さて、どんなネタで書いてくれたのかな？」
立ち止まって、いつも楽しませてもらっている。
毎朝、観察していると、見ていく生徒諸君が実に多いのに気付く。
毎日続けてくれてありがとう。

前日のうちに「おはようボード作成チーム」の生徒諸君が工夫を凝らしてくれている。
その「ネタの工夫と開発」に感心する。

その日の行事などを意識した呼びかけ。クイズもある。
「名言・迷言のコーナー」もいい。元氣や勇氣、笑いにつながる。
給食の献立は、朝から「お昼の給食の時間」が楽しみになる。

実は、本校に来訪するお客さまも「おはようボード」を読んでいるんだよ。

「校長先生、これは、生徒さんたちが書いているんですか？」
「これって、毎日なんですか？」
「生徒さんたちのこの発想がおもしろいですねえ。」などなど。
お客さまも、ついつい立ち止まって読んでしまうらしい。

これも、「明るく楽しい前向きな学校生活」を創り上げる「生徒会の自治活動の一つ」だ。
「でっかい学校行事」をしたり、「派手なイベント」をすることにこだわらなくても、
こういう「地道な毎日の活動の積み重ね」の一つひとつが「確かな学校生活」を支える。

こういう日常活動を日々欠かさず継続して取り組む生徒諸君がいる学校は、**素晴らしい**。
「立ち止まって楽しむ心の余裕」「書き手への感謝・敬意」をもつ生徒諸君は、**素晴らしい**。

私たちの「神町中学校」とは、そういう「お互いの信頼関係」を大切にしている学校なのだ。